

なかつばら

第49号

発行
仲手原自治会

ふれあいまつり

5月13日(土)、朝から雨が降るなか、仲手原自治会恒例のふれあいまつりは、お餅つきの威勢のいい掛け声から始まりました。今年もお客さまとお手伝いの方々にお集りいただき、活気ある「ふれあいまつり」になりました。



▶雨も吹き飛ばしそうな「よいしょ」の掛け声



▶お買い得品がいっぱいのお客さまが詰めかけました

斉藤自治会長のメッセージ

「ふれあいまつり」も今年で27年目になりました。年々、参加していただける皆さまの数も増え、大変喜ばしいことと思っております。開催前から「どんな動物が来るの?今年のステージには誰が出るの?」と毎日の様にお問合せがありました。残念ながら今年には雨に見舞われミニ動物園と野外ステージでの演奏は中止するなど、規模を縮小して開催しました。それでも、会館内で開催したバザーにはお買い得品を探しに、又屋新メニューの「フランクフルト」を



▶焼きそば、お餅、フランクフルトは大繁盛!



▲あいにくのザーザー降りでしたがたくさんの人でにぎわいました。



フランクフルト 初出店

今回、ボーイスカウト横浜第8団が出店されました。第8団は自治会館を利用して、ミニキャンプ体験や餅つきなど独自のイベントを開催しており、昨年11月「男の仲手原食堂」で野外料理体験講師として指導いただきました。そのご縁からの出店です。フランクフルトソーセージは大人も子供も手軽に食べられる人気の食材です。準備した200本は完売しました。

買い求めに多くの皆さまに参加いただき盛況のうちに終わることができました。関係者の皆さまにはご協力ありがとうございました。

平成29年度 自治会総会開催

平成29年5月21日(日)午後1時より自治会館にて、総会が開催されました。出席者は会長以下役員11名、班長・一般会員36名、合計47名出席のもとで、斉藤会長の挨拶に始まり、議長には江村部長が選任され議案の報告と審議が行われました。

斉藤会長挨拶

本日はご多忙のところ、総会に多くの方々にお集まり頂き御礼申し上げます。

この一年間、皆様のご指導・ご鞭撻により、何とか大任を果たすことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

安全で安心そして楽しく住みよい町づくりの取組みについて、現



況と合わせ29年度の事業計画について簡単にご紹介させていただきます。

● 安否確認ができる

地域の関係づくり

会員の皆さまのご理解と、班長・組長さんにご支援いただき、災害基本台帳作りに着手しました。災害基本台帳は、災害が起こった時の安否確認のためだけではなく、被災後の生活支援の基礎情報となるものです。今年度は災害基本台帳を活用した防災訓練なども実施する予定です。

● 災害時要援護者

支援事業の取組み

民生委員の皆さまと対象のお宅を訪問し、顔の見える関係作りに取り組みました。区役所から新たに40名程の個人情報をお預かりしました。引き続き、地域見守りボランティアの方の協力を得て訪問し見守り活動を行います。災害時のご支援方法についても合わせて検討を進めます。

● 親睦を深めるイベントの開催

会員の皆さまに各イベントへ積極的に参加していただく機会を作ります。是非、ご近所&会員同士の交流を深めて頂きますよう、よろしくお願いたします。本年度の行事計画につきましては、お配りした資料をご確認ください。

議案審議・承認

次の5項目の議案について、個別に趣旨説明され質疑応答の後、採決がなされ議案の全てが承認されました。

- ・平成28年度事業報告
- ・平成28年度歳入・歳出決算報告および監査結果報告
- ・平成29年度役員改選
- ・平成29年度事業計画案
- ・平成29年度歳入・歳出予算案



議案審議状況

総会の会議次第・議案については、6月に全戸配布した資料をご確認ください。

H29年度自治会役員一同

自治会活動のご支援・ご協力を、よろしくお願いたします!!

上段	小松真一 会計監査	細川邦夫 会計監査	久保寺 功 防災部長	江村 清 安全対策部長	築地美恵子 総務部長	押尾泰典 広報部長
下段	阿部ふさな 庶務部長	村野明美 副会長	斉藤眞幾男 会長	岡田二郎 副会長	井上禮子 顧問	和田恵美子 厚生部長

新任 学校長 紹介

目指すは

「家庭・地域とともに歩む学校」

横浜市立神奈川中学校 学校長 長谷川 眞介



この度、南区の平楽中学校副校長から、縁あって神奈川中学

校に校長として着任いたしました。

学区の地域には、親子で神奈川中学校を卒業された方が多くいらつしやると聞きました。次代の「まち」を支える人材を育てていくことは、神奈川中学校に課せられた一つの使命だと思っています。しかし、人づくりは学校だけではできません。保護者をはじめ、地域の方々の温かいご協力や子どもたちへのご支援があつてこそ、子どもたちは様々な出会いを体験し、学校の中だけでは得られないたくさんのごことを学んでいけるのだと思います。

本校には「全員を仲間と認めること」「仲間と協力すること」「仲間を大切にすること」という目標があります。これは学校内だけでなく、保護者や地域との関係にも当てはまることだと思つていま

す。私はこの目標のように、学校・家庭・地域が「仲間」となつて、「ともに子どもたちの成長を支えていく学校づくり」を目指していきたいと考えています。どうぞご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

育メンツ奮闘記

少子化の風潮の中で、今回は2歳になる双生児の育児に励むお父さんをご紹介します。

「パパの双子育児日記」

二丁目5班 上條 洋

平成27年4月22日、我が家に双子が誕生した。一卵性双生児の男子二人。名前は、生まれる半年前から、いくつもの候補を出しながら、悩みに悩み、奥さんと何度も話し合い、最後は驚くほどすんなり決まった。「人への想いを結ぶ」という意味を込めて、想生(そう)と結生(ゆう)と名付ける。



双子が産まれて、生活が激変。三時間おきのミルクとオム

ツ替え、そのための哺乳瓶の洗浄、全力で泣く二人をおんぶと抱っこで子守唄。二人いるので、1時間半おきにこのサイクルが回る。休む暇はない。確かに睡眠不足がしばらく長く続くことになるが、家族と噛みしめた2倍の育児は、2倍の幸せとして確かに感じる事ができた。この生活サイクルも、保育園へ通園した頃から少しずつ変わっていく。



子供たちがヨチヨチ歩きをし始めたころ、仲手原にある港北保育園の0歳児保育に入園。親の都合かもしれないが、仲手原に住む者として、競争倍率が高くとも港北保育園には、なんとしても通わせたい、双子を別々の保育園に通わせることだけは避けたい。そんな思いもある中、兄弟(双子)は入園審査のポイント加算があるらしく運良く二人揃って入園できた。

保育園に入園してから、双子の性格の違いが顕著に現れるようになる。想生は、感受性が高く、思いやりがあり、行動派。結生は、

マイペースで頑固一徹。性格は、周りの環境に影響する部分もあるかもしれないが、全く同じ遺伝子を持つ一卵性双生児の性格の違いをみるにつけ、性格とは生まれ持った天性ではと密かに思う。

最近のパパの楽しみは、こんな性格の違う二人を連れて、晴れた土曜の休日にカバ公園(仲手原二丁目公園。青いカバがあるので勝手にこう呼んでいる)に行くことだ。ちなみに、奥さんは土曜も働いているので、パパ一人で連れて行く。あちこち歩き回る2歳2ヶ月の二人を追いかけては捕まえ、追いかけては捕まえの繰り返し。一人が滑り台に行つたかと思うと、もう一人が逆の砂場に行く。一瞬、どっちの子を追いかけていいか、あわあわと慌てる。パパの一番の運動の機会だ。



公園から帰る時は、想生が左、結生が右、パパが真ん中。パパの人差し指を二人が優しくぎゅっと握りながら小さな歩幅で公園を背にする。

明日からも頑張れる。そんな想いを結ぶ土曜の休日だ。

自治会だより

- 7月 仲手原夏祭り寄付金依頼
夏祭り世話人会(15日)
「なかつはら」49号発行
夏祭りの盆踊り練習
7月20日・8月10・25日
 - 8月 夏祭り準備・清掃(20日)
夏祭り(26・27日)
夏祭り片付け(28日)
 - 9月 3R夢施設見学会(調整中)
健民祭(15日)
健康づくり講座
ひとり暮らし高齢者昼食会
仲手原防災訓練(28日)
 - 11月 仲手原寄席
- ※敬老のお祝い品は自治会に登録されている方へ差し上げています。喜寿(77歳)米寿(88歳)白寿(99歳)の方へはお祝い金3千円、70歳・75歳・80歳・85歳・90歳以上の方へはお菓子を差し上げます。65歳以上で未登録の方は住所・氏名・性別・生年月日記載の用紙を民生児童委員へ提出、または自治会館のポストに投函して下さい。



子供会だより

単独行事

- 7〜8月 夏休み期間中、各子供会でラジオ体操を開催
 - 9月 ペットボトルロケット大会
 - 11月 篠原地区連合会行事
- 新入学児童へのお祝い品贈呈**
29年度に小学校へ入学した児童37名へお祝い品が贈呈されました。来年度に入学を予定されているお子さんを持つ父母の皆さま、来年1月に回覧を回しますの
で、用紙に必要事項を記入し、自治会館のポストに投函して下さい。
- 港北小学校地域防災拠点訓練**
6月10日(土) 41名参加
猛暑のなか、12時に「いつとき避難所の自治会館」に集合し、「防災拠点の港北小学校」へ避難。篠原地区連合主催により、参加者22名が、次の防災拠点訓練を実施しました。
- ・防災拠点とは何かの確認
 - ・備蓄庫の物資の確認など



自治会対抗グラウンドゴルフ大会

惜しくも準優勝！ 5・28

篠原中学校校庭で、篠原中学の生徒や先生のチームも参加し、全13チームが、優勝を目指して頑張りました。



大健闘した選手たち

我が仲手原チーム6名は16ホールを37アンダーの251と健闘しました
が、優勝チームの篠原コーポラスに2点及ばず準優勝でした。

自治会館利用の文化活動の紹介

「着物を楽しむ会」

「着物を着るのが大好き」という人から「着物は初めて」という人までが和気あいあいのひと時を過ごせるのが会の良いところで、毎月二、三回金曜日に仲手原自治会館などで先生方にご指導いただきながら、小紋・留袖・振袖・袴・喪服・七五三等の着物の着方や着せ方の勉強をする活動をしています。新たに道具や高価な着物を買ったりしなくても、身近なところから着物に親しむことができます。単に技術を学ぶだけではな

く、入戸野雅子先生の「着物にまつわるお話」がとても深い内容な

ので、日本の伝統行事や文化を知ることが出来ます。そのことが、この会が発足から三十五年も続いてきた所以と言えます。

三溪園での新年会、歌舞伎鑑賞、庭園のお散歩等、四季折々に着物でお出かけという企画も楽しみの一つです。



三溪園での新年会 2017/1/11

日本は伝統的な着物に親しむことは、日々の生活に潤いと豊かさを与えてくれます。関心をお持ちの方は仲手原自治会館での会の様子をどうぞ見学にいらしてください。

《編集スタッフ》

- 伊東美奈子・植木幹造・江村清・押尾泰典・三宅博久・宮田純子・和田恵美子・編集責任者―中村泰雄